



京都コンテクト・トレイル

「神社の歴史×テキストマイニング」による地域価値の再発見

同志社大学 政策学部 野田ゼミ

所属: 同志社大学政策学部政策学科

中嶋 もも花・千 彰紀・中村 壮吾・嶺口 陽己
笹田 采里・佐藤 晴南・古河 巧大・丸田 京果

目次

01

現状・課題

02

政策提言

03

効果検証

04

今後の展望

■ 京都の観光産業の特徴

■ 京都市の
オーバーツーリズム

■ 市民生活との摩擦

■ 混雑による経済的損失

■ 京都市財政の将来

■ 混雑対策の現状

■ 解決の方向性

■ 仮説

■ 政策の概要

■ データ収集

■ テキストマイニング

■ 分析結果

■ 貴族浪漫
コンテキスト・トレイル

■ 素戔鳴尊
コンテキスト・トレイル

■ 芸能
コンテキスト・トレイル

■ 政策効果の検証

■ 神社へのヒアリング調査

■ まとめ

【イラスト出典】

・Canva ・icooon-mono

・野田ゼミ作成・AIで生成(11, 15, 16ページ)

大

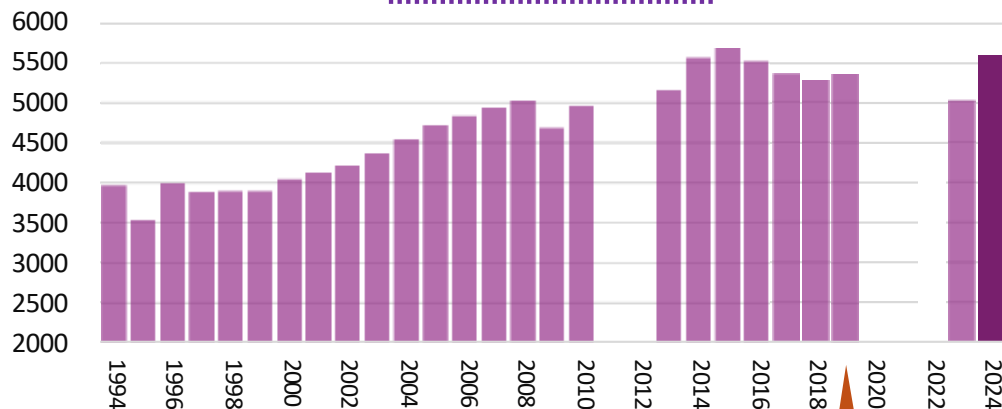
1-1. 京都の観光産業の特徴



京都市は**観光都市**として全国的に知られ、観光客数・宿泊者数ともに**高水準**で推移。
観光産業は市の経済の主要な基盤となっている。

(万人)

観光客数の推移



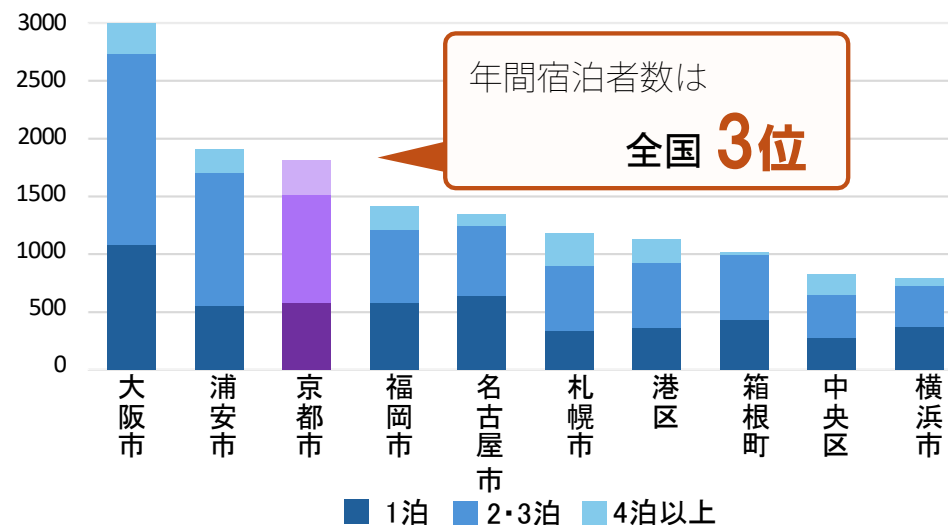
- ◆ 観光客数は増加傾向
- ◆ コロナ禍前を上回る水準にまで回復

(注)2011、2012年は調査手法の変更により推計していない

【出典】京都観光総合調査より野田ゼミ作成

(万人)

延べ宿泊者数(2024年)

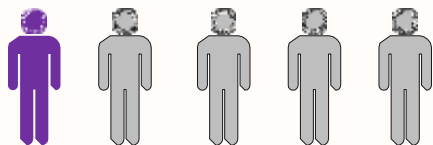


年間宿泊者数は
全国 **3位**

【出典】RESAS 観光マップ-宿泊者分析(観光予報プラットフォーム推進協議会「観光予報プラットフォーム」)より野田ゼミ作成

観光関連産業で働く人

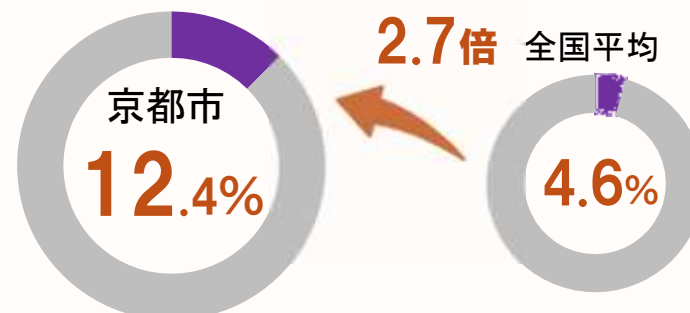
▶ **15万3,000人**



京都で働く **5人に1人** に相当

【出典】京都市産業観光局観光MICE推進室
「みんなでつくる京都観光」より

経済活動のうち観光産業が占める割合



【出典】京都市産業観光局観光MICE推進室
「みんなでつくる京都観光」より野田ゼミ作成

1-2. 京都市のオーバーツーリズム

⌘ 観光産業が好調な京都市だが、主要な観光地に観光客が過度に集中し、オーバーツーリズムが常態化している。

観光客の訪問先割合(2024年)



京都駅周辺

日本人: **42%**
外国人: **38%**



清水・祇園周辺

日本人: **37%**
外国人: **67%**



嵯峨嵐山周辺

日本人: **19%**
外国人: **35%**



四条河原町周辺

日本人: **27%**
外国人: **36%**



二条城周辺

日本人: **25%**
外国人: **62%**

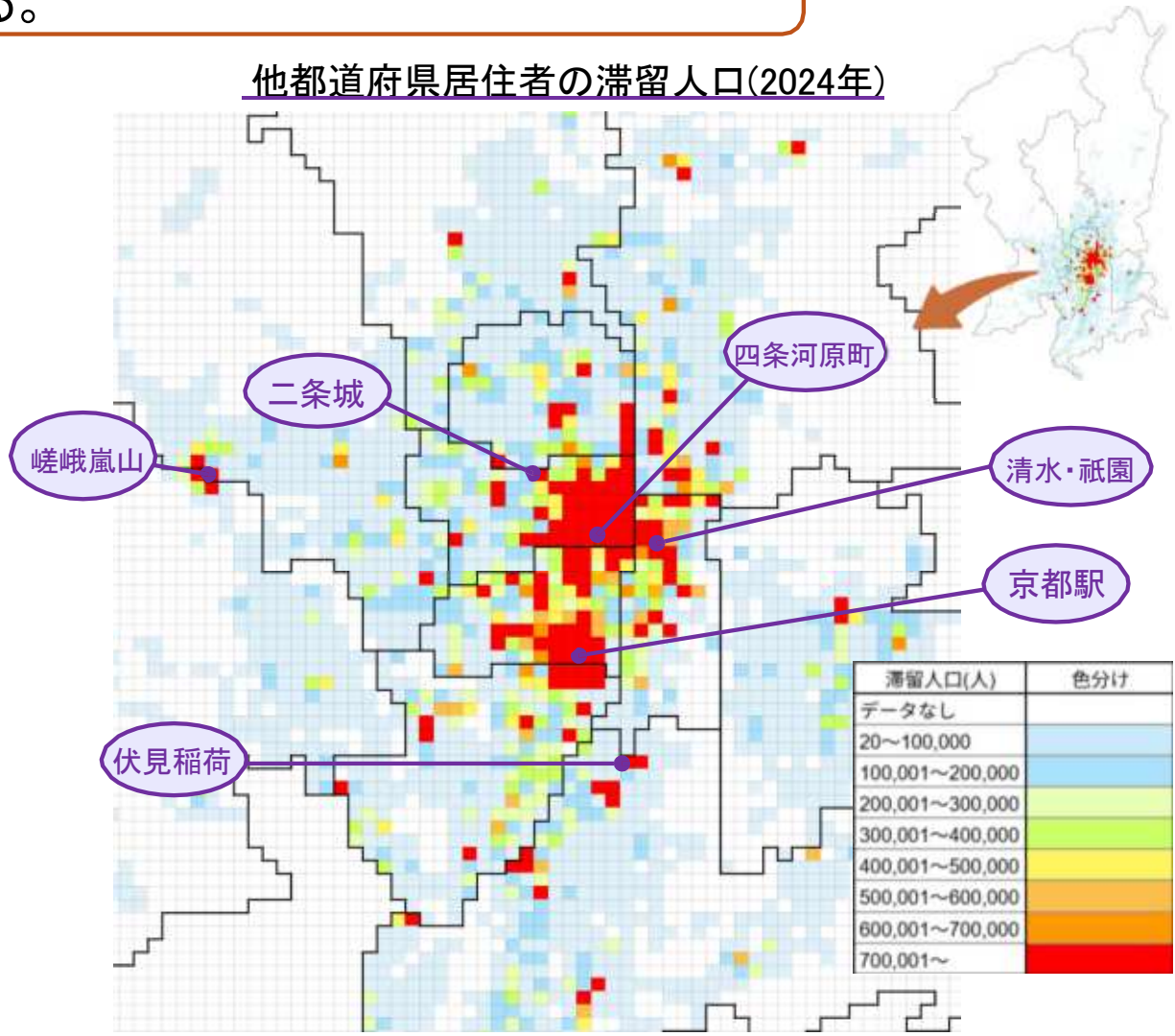


伏見周辺

日本人: **13%**
外国人: **50%**

【出典】京都観光総合調査より野田ゼミ作成
画像:野田ゼミ撮影

他都道府県居住者の滞留人口(2024年)



滞留人口:ある地点に15分以上滞留している人の1時間あたりの平均人数
30分間滞留している人は0.5人としてカウントされる。すべての月、すべての日、すべての時間帯は、それぞれの滞留人口の合計値を指す。

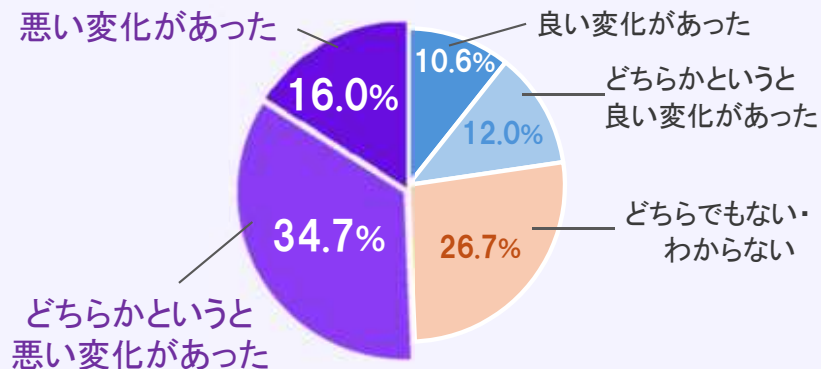
(条件)時期:すべての月・日・時間帯 性別:すべての性別
年代:すべての年代 推定居住地:他都道府県
メッシュサイズ:250m

【出典】RESAS 観光マップ-観光地分析(LocationMind株式会社「LocationMind xPop」データ)より野田ゼミ作成

1-3. 市民生活との摩擦

市民の過半数は、観光客による生活への影響に不満を感じている。

観光客が増えたことによる変化(n=75)



【出典】京都駅・嵐山での街頭調査(8月)より野田ゼミ作成

街頭調査で得られた意見(抜粋)



20代女性

どこに行くのにも人が多く、思うように歩けない。
タクシーは拾えず、バスにも乗れない。スーツケースが邪魔。



50代男性

土産物屋など産業が潤う一方で、民泊が増えたり、
元々日本人しかいなかったところにも常に外国人がいるようになり
不安を感じることもある。

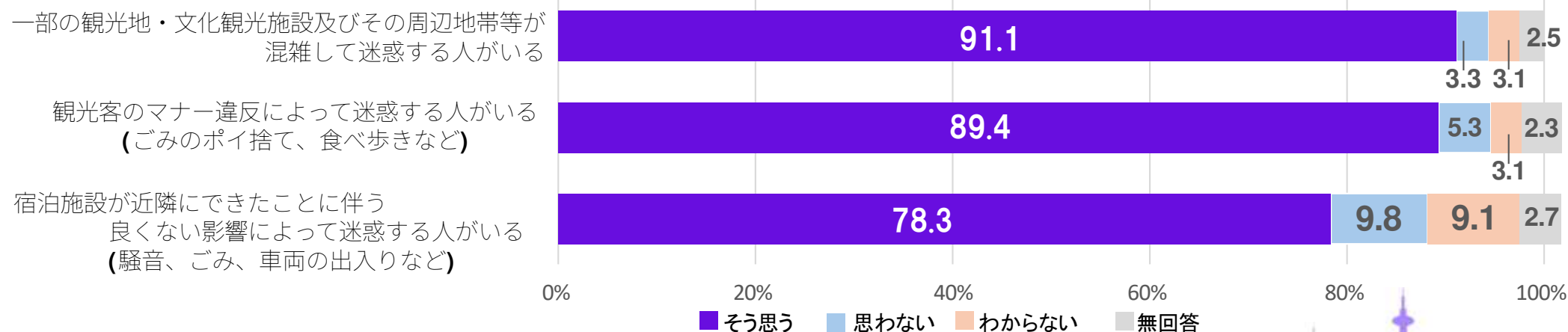


50代女性

交通機関や飲食店が混雑している。
今まで当たり前だったことができなくなった。



観光客や京都観光が京都市にもたらす影響(2024年)



(注)そう思う:「とてもそう思う・そう思う・どちらかというそう思う」の合計 思わない:「思わない・どちらかという思わない」の合計

【出典】京都観光に関する市民意識調査より野田ゼミ作成



1-4. 混雑による経済的損失

開 京都市は観光により利益を得ている一方で、観光地の混雑により損失を被っている。
観光客を分散させることで、さらに大きな収益を生み出せる余地がある。

混雑による観光消費額の損失(2024年)

▶ 清水坂・渡月橋・錦市場などの11スポットで

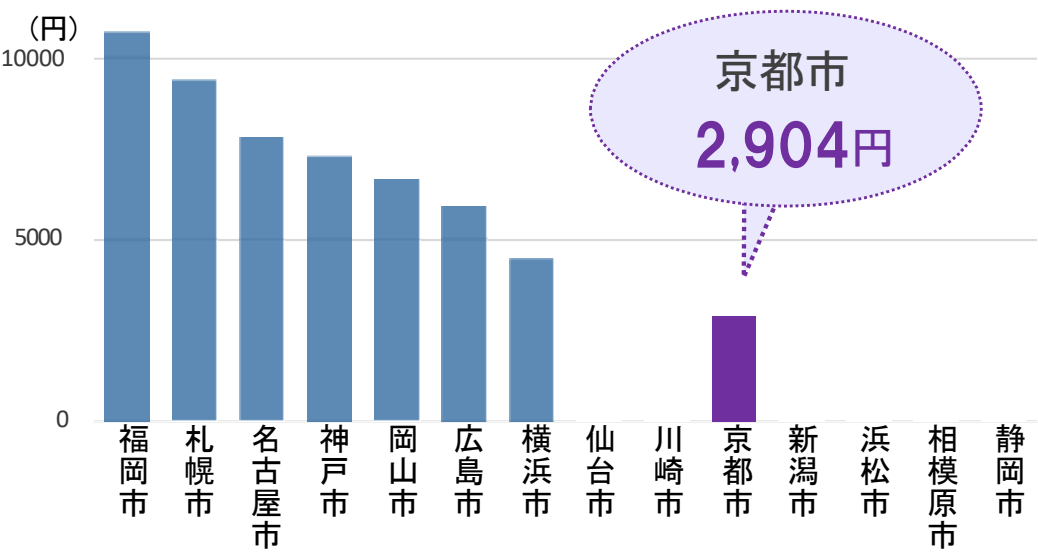
約**35億円**

場所	人数(人)	機会損失(円)
清水坂	337,680	212,625,224
岡崎公園	384,160	220,563,219
金閣寺付近	130,330	73,201,507
竹林小径	246,840	155,851,423
哲学の道北端	136,740	55,379,664
伏見稲荷大社付近	306,300	171,114,499
花見小路	226,890	119,916,471
北野天満宮付近	225,830	98,556,372
京都駅前バス乗り場	2,557,400	1,756,696,227
渡月橋	333,090	191,815,115
錦市場	857,980	511,436,899
合計	5,743,240	3,567,156,625

(注)機会損失=
【A】時間価値(円/分)×【B】混雑による追加所要時間(分)×【C】観光客数

- 【A】時間価値(円/分)=【D】日帰り観光客の平均消費額(円)÷【E】7(時間)÷60(分)
- 【B】混雑による追加所要時間(分):
『京都市観光協会「混雑回避に役立つ 京都観光快適度マップ」混雑度予測結果CSVデータ(2024年)』より、1～35の数値を想定される待ち時間に換算し、年平均を使用
指数1～10: 待ち時間5分, 11～15: 10分, 16～20: 15分, 21～25: 20分, 26～30: 25分, 31～35: 30分
- 【C】RESAS 観光マップ-観光地分析(LocationMind株式会社「LocationMind xPop」データ)より
(推定居住地:すべての推定居住地)
- 【D】京都観光総合調査2024より。宿泊に伴う消費を除くため、日帰り観光客のデータを使用
- 【E】 10～16時の観光を想定

観光客一人当たりの付加価値額(政令市比較, 2016年)



(注1)付加価値額(宿泊業, 飲食サービス業)/ 観光客数(各市HP掲載)
(注2)千葉市,さいたま市,大阪市,堺市, 北九州市,熊本市は観光客数不明
(注3)RESASの2021年・2016年のデータのうち、コロナ禍の影響を除くため
2016年のデータを使用した

【出典】RESAS 産業構造マップ-産業構造分析(総務省・経済産業省「経済センサス-活動調査」)・各市HPより野田ゼミ作成

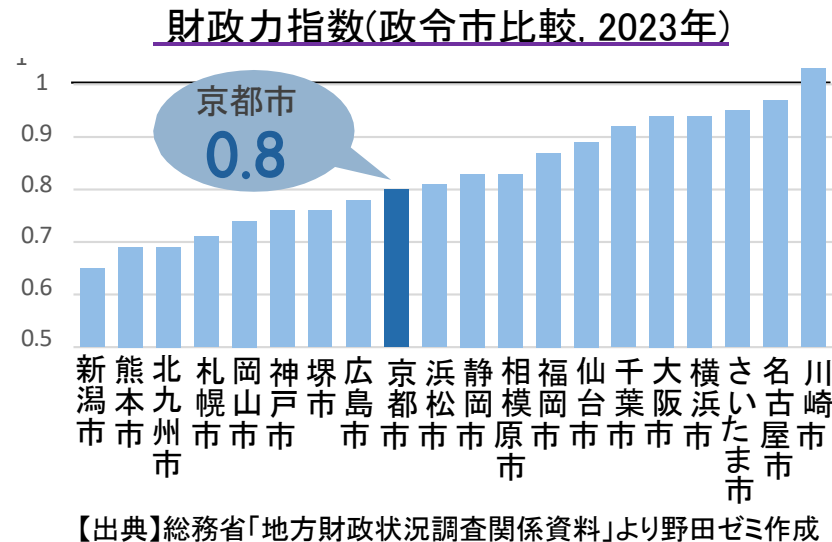
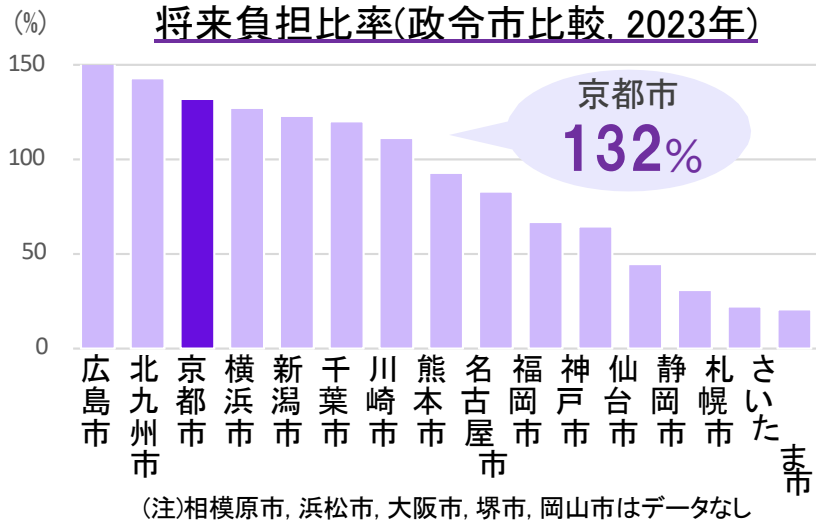
観光客が消費する場所はたくさんあるにもかかわらず付加価値額が他都市よりも低い

➡ **観光地の混雑**が要因と考えられる

1-5. 京都市財政の将来



財政非常事態宣言のなか行財政改革を進め、近年改善傾向にあるものの、今なお予断を許さない状況にある。また社会福祉費の増大も予想される中、観光による税収増が期待される。



将来負担比率:
地方公共団体の財政規模に
対する負債の割合

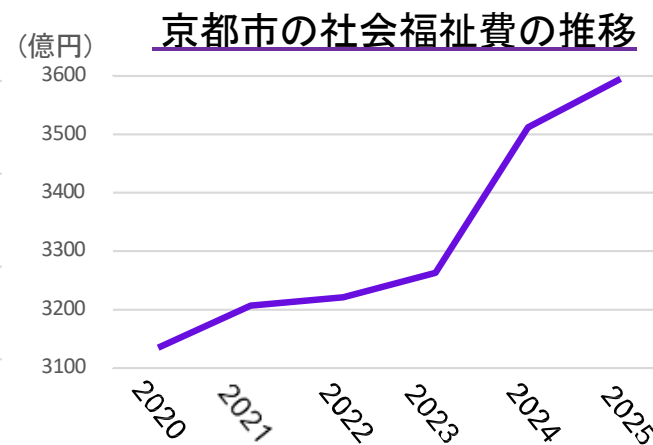
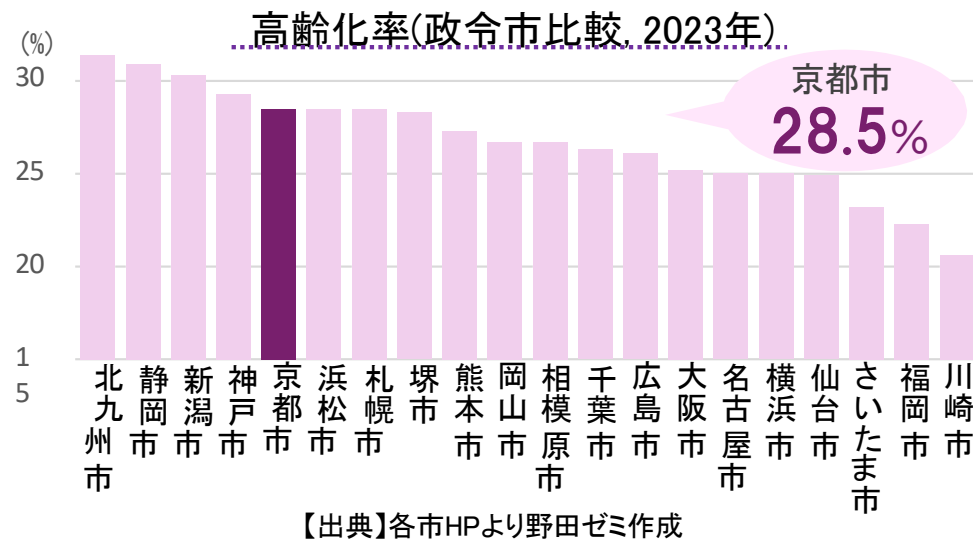
財政力指数:
指数が高いほど留保財源大



京都市は他都市と比較して
厳しい財政状況にある

【出典】総務省「地方財政状況調査関係資料」より野田ゼミ作成

【出典】総務省「地方財政状況調査関係資料」より野田ゼミ作成



高齢化率が高く、
社会福祉費の拡大は今後も
続くと予想される



持続可能な京都市に
するため、観光により
収入を増やす必要がある

【出典】各市HPより野田ゼミ作成

【出典】市HPより野田ゼミ作成

現状・課題

1-6. 混雑対策の現状






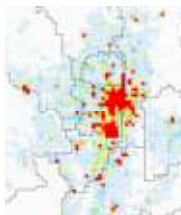
問題

京都市ではオーバーツーリズムによる市民生活への影響や経済損失が深刻化し、京都観光の持続可能性が問われている。観光が市の重要な収入源であることから、市は時期・時間・場所の分散に取り組んできたがいずれも効果は限定的である。（施策実施前の2018年と比較）

 **時期の分散**

 **時間の分散**

 **場所の分散**

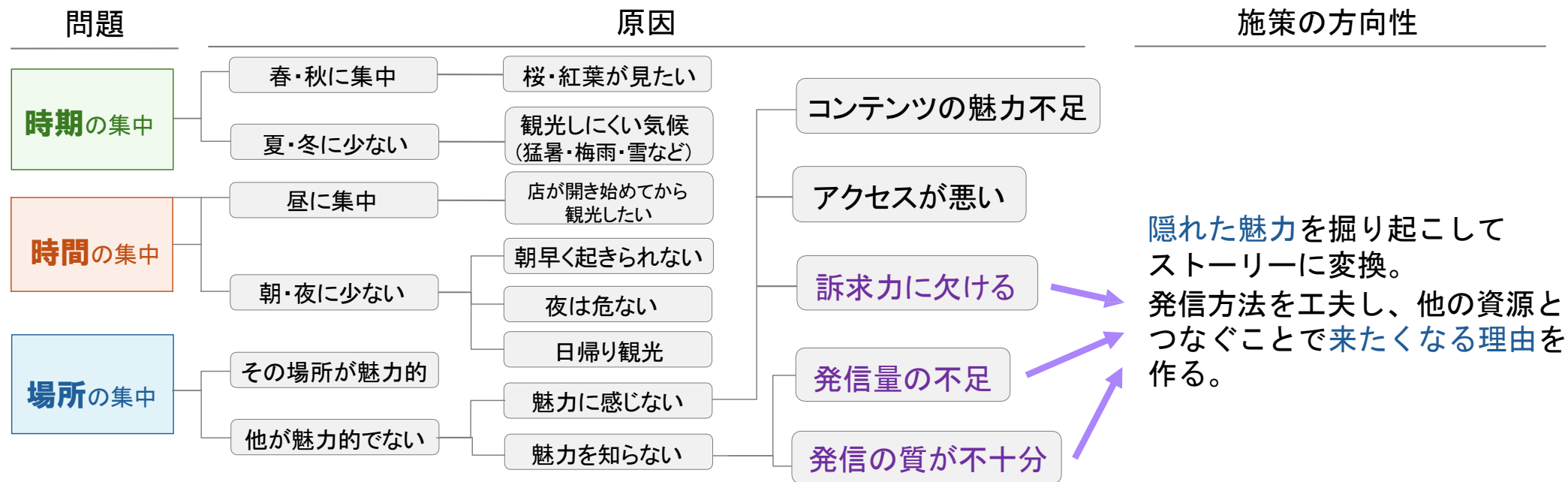
内容	桜や紅葉の季節の観光客の集中を緩和するため、夏と冬に積極的に誘客を行う	日中に集中しがちな観光客の活動時間を分散化する	有名な観光スポット以外のエリアに観光客を誘致する																																										
期待される効果	観光関連産業の雇用の安定	・観光客の満足度向上 ・消費の拡大	・観光客の集中の緩和 ・地域の活性化																																										
施策例	<div>夏と冬に、 ・文化財を特別公開 ・有名レストランの スペシャルメニューを 特別価格で提供 ・スイーツやサービスなど の特典がもらえる</div> <div></div> <div>【出典】京都観光Navi ※掲載許可取得済</div>	<div>・早朝の寺社での座禅やヨガ体験 ・モーニングスポットの紹介 ・桜や紅葉の夜間ライトアップ ・「夜のアートスポット」の紹介</div> <div></div> <div>【出典】京都観光Navi ※掲載許可取得済</div>	<div>「とっておきの京都プロジェクト」 <u>伏見・大原・高雄・山科・西京・京北</u> の6つのエリアに着目し、 知る人ぞ知る隠れた魅力や 観光情報を発信</div> <div></div> <div>【出典】京都市観光協会 ※掲載許可取得済</div> <div></div>																																										
効果	<div>観光客の月別繁閑差..</div> <div></div> <div>秋(春)への集中度はほとんど変化が見られない 【出典】京都観光総合調査2018・2024より野田ゼミ作成</div>	<div>日本人観光客の時間別繁閑差(%)</div> <table><tr><th>区分</th><th>2018年</th><th>2024年</th></tr><tr><td>6時～9時</td><td>13.8</td><td>15.5</td></tr><tr><td>9時～12時</td><td>63.6</td><td>70.9</td></tr><tr><td>12時～15時</td><td>64.7</td><td>75.8</td></tr><tr><td>15時～18時</td><td>46.2</td><td>47.5</td></tr><tr><td>18時～21時</td><td>15.3</td><td>12.8</td></tr><tr><td>21時以降</td><td>2.8</td><td>2.0</td></tr></table> <div>朝観光は増加したが、<u>昼への集中は加速し、夜観光も減少している</u> 【出典】京都観光総合調査2018・2024より野田ゼミ作成</div>	区分	2018年	2024年	6時～9時	13.8	15.5	9時～12時	63.6	70.9	12時～15時	64.7	75.8	15時～18時	46.2	47.5	18時～21時	15.3	12.8	21時以降	2.8	2.0	<div>日本人観光客の訪問地割合(%)</div> <table><tr><th>訪問地</th><th>2018年</th><th>2024年</th></tr><tr><td>京都駅周辺</td><td>50.4</td><td>42.4</td></tr><tr><td>清水・祇園周辺</td><td>47.7</td><td>37.8</td></tr><tr><td>河原町周辺</td><td>32.4</td><td>27.7</td></tr><tr><td>嵯峨嵐山周辺</td><td>22.7</td><td>19.2</td></tr><tr><td>二条城周辺</td><td>14.5</td><td>25.8</td></tr><tr><td>伏見周辺</td><td>15.0</td><td>13.7</td></tr></table> <div> ↑ RESASより 野田ゼミ作成</div> <div>一定の効果は見られるが、依然として一部地域に集中しており、<u>さらなる分散が必要</u> 【出典】京都観光総合調査2018・2024より野田ゼミ作成</div>	訪問地	2018年	2024年	京都駅周辺	50.4	42.4	清水・祇園周辺	47.7	37.8	河原町周辺	32.4	27.7	嵯峨嵐山周辺	22.7	19.2	二条城周辺	14.5	25.8	伏見周辺	15.0	13.7
区分	2018年	2024年																																											
6時～9時	13.8	15.5																																											
9時～12時	63.6	70.9																																											
12時～15時	64.7	75.8																																											
15時～18時	46.2	47.5																																											
18時～21時	15.3	12.8																																											
21時以降	2.8	2.0																																											
訪問地	2018年	2024年																																											
京都駅周辺	50.4	42.4																																											
清水・祇園周辺	47.7	37.8																																											
河原町周辺	32.4	27.7																																											
嵯峨嵐山周辺	22.7	19.2																																											
二条城周辺	14.5	25.8																																											
伏見周辺	15.0	13.7																																											

1-7. 解決の方向性

開

時期・時間・場所の混雑要因を分析した結果、「**場所の集中**」が根本的要因かつ最もアプローチしやすい問題であると導出した。

ヒアリング調査より、**混雑を避けて主要観光地周辺に移動する日本人観光客が近年増加していることを確認し、「場所の分散」を促す施策の有効性を把握した。**



長岡京市市長

長岡京市は京都市から車で20分ぐらいのところに位置している。
最近では京都市の観光客に、長岡京市のお寺や観光地にも来てもらうことが増えているように感じる。



京都市産業観光局
MICE推進室

・主要観光地周辺を訪れる日本人観光客が増加しているのは、数として表れている。
・京都市全てのエリアで混雑が発生しているわけではないという認識で、混雑していない場所に人を送って対策する方針で進めている。



←全国市町村長クローバー会でのインタビューの様子



←MICE推進室にインタビューを実施

2-1. 仮説(コンテンツよりコンテクストが混雑を解消する)

「場所の集中」の要因は、①特定の場所が特に魅力的、②他の場所の魅力発信が不十分の2点に整理できる。
 ②は魅力がないのではなく、魅力の読み解き方に問題がある。観光資源のコンテンツだけでなくそのコンテクストへの着目こそが必要である。
 特定のエリアへの観光客の集中を解消するためには、景色や食べ物などを目的とする**コンテンツ型観光**に加えて、地域資源の背景を伝える**コンテクスト型観光**の推進も必要である。
 それにあたり、観光客の大半を占め、文脈を理解しやすい日本人観光客をターゲットとした。



野田ゼミによる定義

コンテンツ型観光

景色・食べ物・施設など、目に見える魅力を目的とした観光の形態。
 SNS映えや名物グルメなど、消費される対象が明確。

⇔ コンテクスト型観光

コンテクストとは「文脈」を意味する。
 土地に根差した歴史・文化・人々の営みといった文脈に触れる観光の形態。

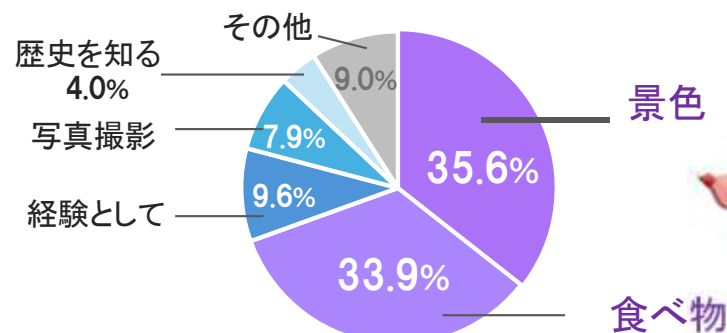
例)山形県鶴岡市 山岳信仰集落「手向宿坊街」での聖地体験

山伏の生き方や価値観に触れてもらうコース。
 人々の生活に息づく修験道文化の保全・継承に繋げ、本物の修験道の聖地であり続けることを目指している。

熊本県人吉市 緑の流域治水スタディツアー

本物の流域治水の技術を体験する、学びを軸としたツアー。
 球磨川に育まれた地域資源との掛け合わせにより相乗効果を生み出し、地域活性化に繋げている。

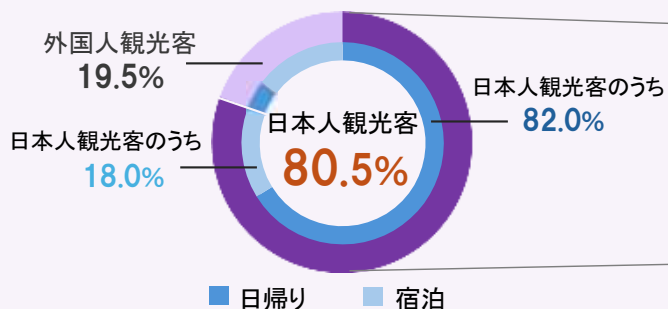
観光の目的(n=177, 日本人観光客対象)



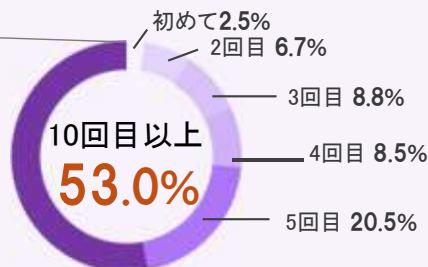
【出典】京都駅・嵐山での街頭調査(8月)より野田ゼミ作成

◆ 景色や食べ物を目的とする「**コンテンツ型観光**」が約70%

観光客数の内訳(2024年)



京都への訪問回数(日本人・2024年)



【出典】京都観光総合調査より野田ゼミ作成

◆ 日帰りの日本人観光客が大半を占める(全体の66.0%)

◆ 日本人観光客は90%以上がリピーター

◆ 日本人は言語・文化の壁がない
 =文脈理解の波及効果大

➡ 日本人観光客には分散を促しやすい

2-2. 政策の概要



京都コンテキスト・トレイル



観光客に「見て楽しむ観光」にとどまらない
「読み解いて実感する観光」という選択肢を提示し、
地域資源の再解釈により観光客の分散を図る

京都市内の神社の由緒などをテキストマイニングで分析し、
各社の背景にある文化や価値観=**コンテキスト**を可視化



導出したコンテキストをもとに、市内の主要観光地と、
魅力がありながらまだ観光地化されていない神社を結ぶ
京都コンテキスト・トレイルを作成

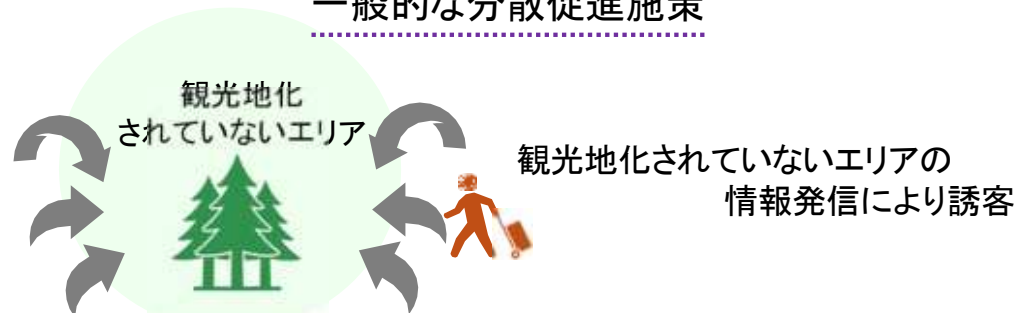
▶ なぜ神社？

- ・ 神社と地域の深い絆や市民の信仰は、長い歴史に裏打ちされた「コンテキスト」と言える
- ・ 市内の各地域にあり、地域ごとに比較しやすい

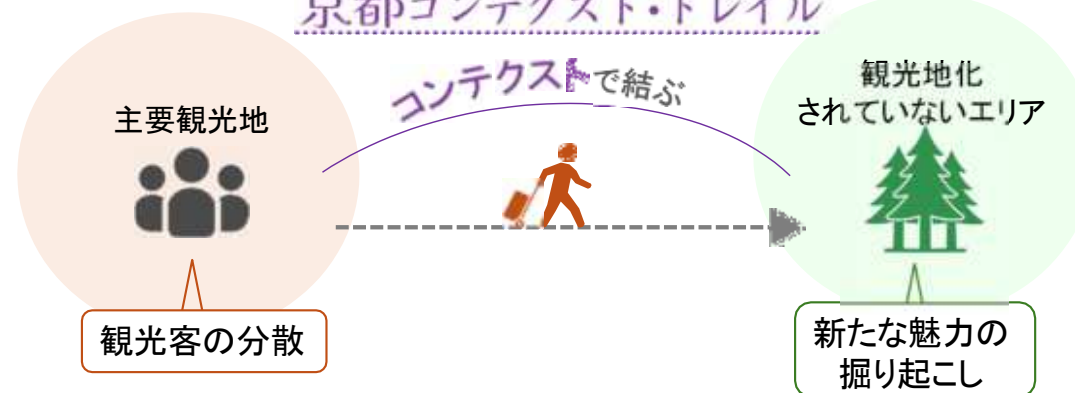
▶ なぜテキストマイニング？

- ・ 神社に関する膨大な情報から地域ごとの特徴や傾向を把握できる
- ・ 単語間の関係を可視化でき、コンテキストを読み解くことができる

一般的な分散促進施策



京都コンテキスト・トレイル



観光地化されていないエリアに単に観光客を呼ぶのではなく、
主要観光地との繋がり(コンテキスト)を発信して主要観光地から誘客
→ **主要観光地とコンテキストで結ぶことでターゲットが明確化し、
分散の促進がより期待できる**



京都市内の神社940社の情報を個々の駒札より網羅的に収集し(神社間のデータの偏りを避けるため駒札に限定)、テキストマイニングによる分析に向けてデータを整理した。



市内の神社940社



↑ 大きな神社から祠まで



- ・Google Mapの駒札の写真
- ・現地調査

神社の駒札→



↑ 近くの神社から山頂の神社まで
幅広く現地調査



収集データ

- ◆ 神社名
- ◆ 位置(区)
テキストマイニングで分析する際に
外部変数として分析しやすいため区単位で統一
- ◆ 創建(時代)

[illegible]

- ◆ 御祭神(カタカナ・漢字)
 - ・複数の漢字表記があるため読み仮名も収集
 - ・異称も統一済
(例: 応神天皇・誉田別命→オウジンテンノウ)
- ◆ ご利益(引用・統一)
テキストマイニングで外部変数として
分析しやすいため以下17項目で分類・統一

金運・財運
商売繁盛
縁結び・恋愛成就
子宝・安産
学業成就・試験合格
健康・病氣平癒
厄除け・災難除け
勝負運・成功祈願
交通安全
家内安全
芸能上達・技芸向上
出世・昇進
国家安泰・平和祈願
五穀豊穰・農業繁栄
悪縁切り
開運
諸願成就

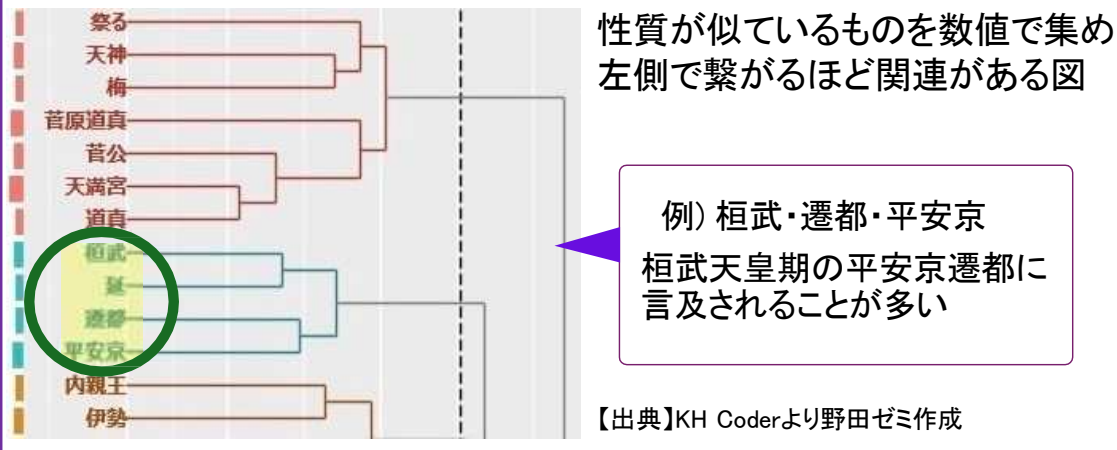
←収集したデータの一部

2-4. テキストマイニング

開

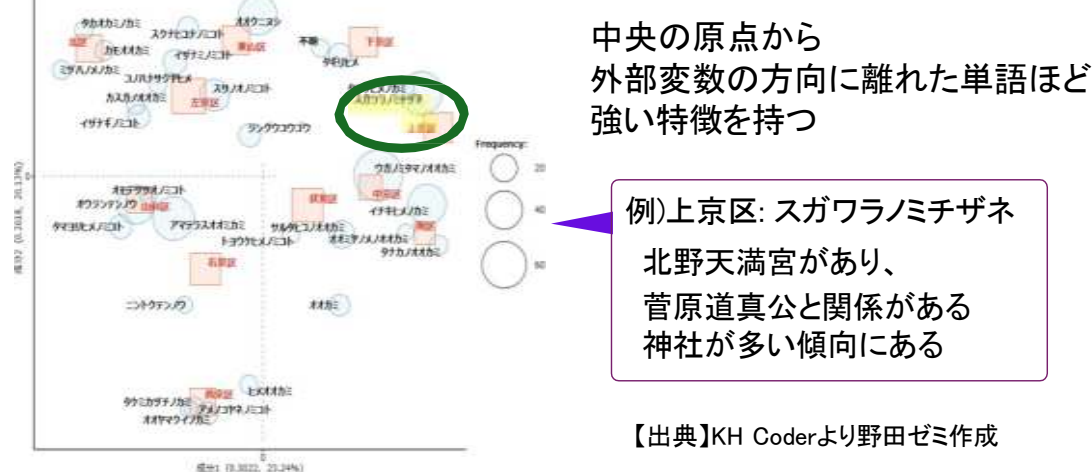
テキストマイニングソフトウェアのKH Coderを用いて、収集した神社のデータを分析した。
分析には、**階層型クラスター分析・対応分析・共起ネットワーク**の3つの手法を用いた。
階層型クラスター分析では、類似した単語をグループ化できる。対応分析では外部変数の切り口で文脈を理解でき、共起ネットワークでは語の関連性の強さを確認できる。

階層型クラスター分析



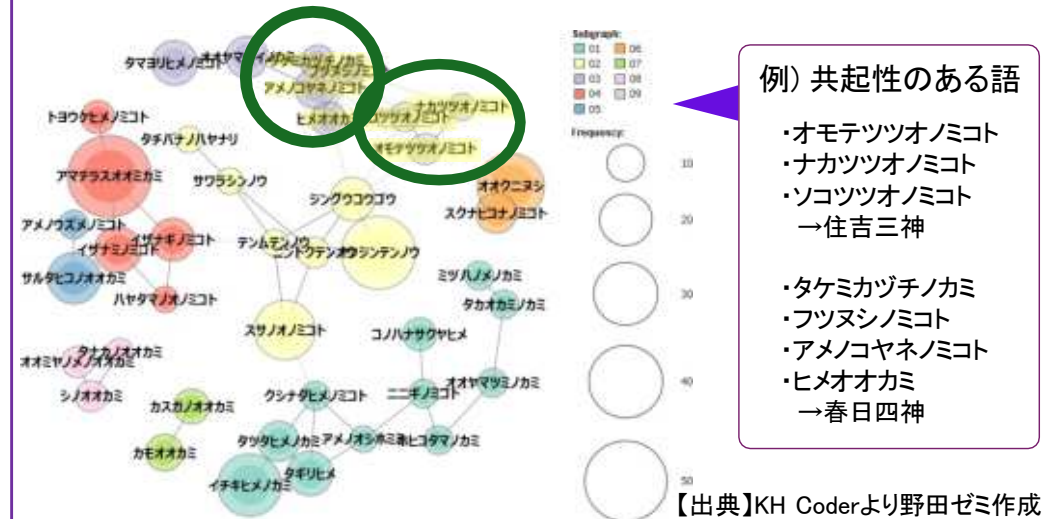
対応分析

単語と外部変数の関係を可視化した図



共起ネットワーク

共起の程度が強い語(文章中に共に出現する語)を線で結んだ図



使用ツール

KH Coder

【画像出典】KH Coder 掲載許可取得済

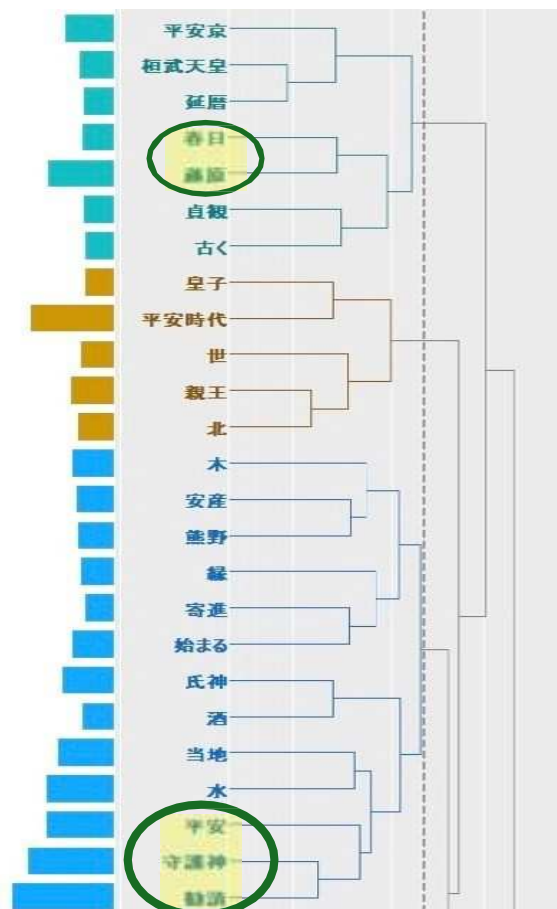
(株)SCREENアドバンスドシステムソリューションズより授業用ライセンスをご提供いただいた

【参考文献】

- ・末吉美喜「テキストマイニング入門: ExcelとKH Coderでわかるデータ分析」2019
- ・樋口耕一ほか「動かして学ぶ! はじめてのテキストマイニング
フリー・ソフトウェアを用いた自由記述の計量テキスト分析」2022
- ・樋口耕一「社会調査のための計量テキスト分析 内容分析の継承と発展を目指して 第2版」2020

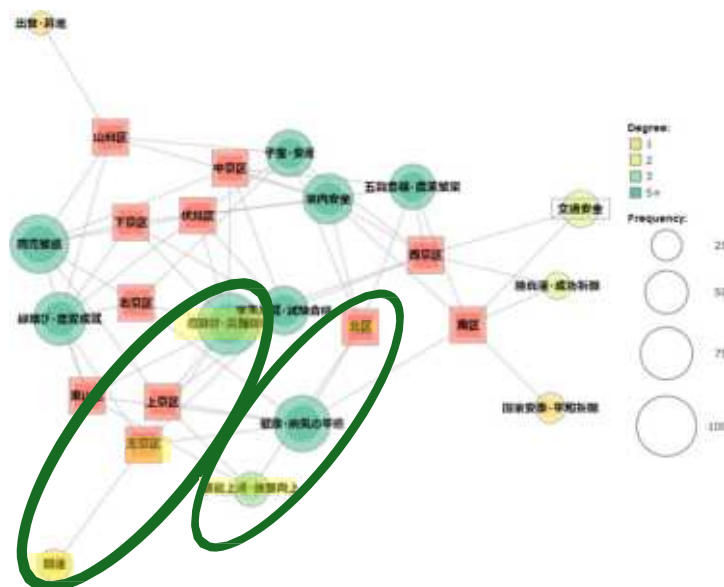
政策提言

2-5. 分析結果

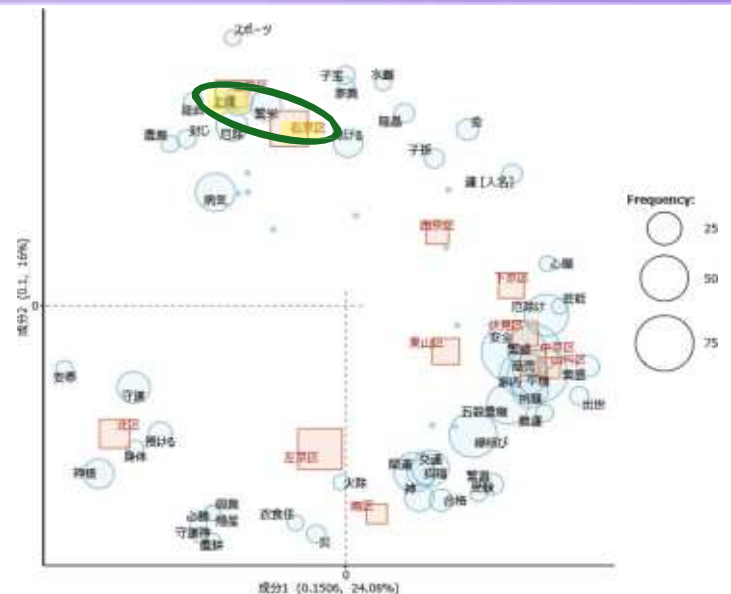


↑ 図1 階層型クラスター分析
(分析対象: 駒札)

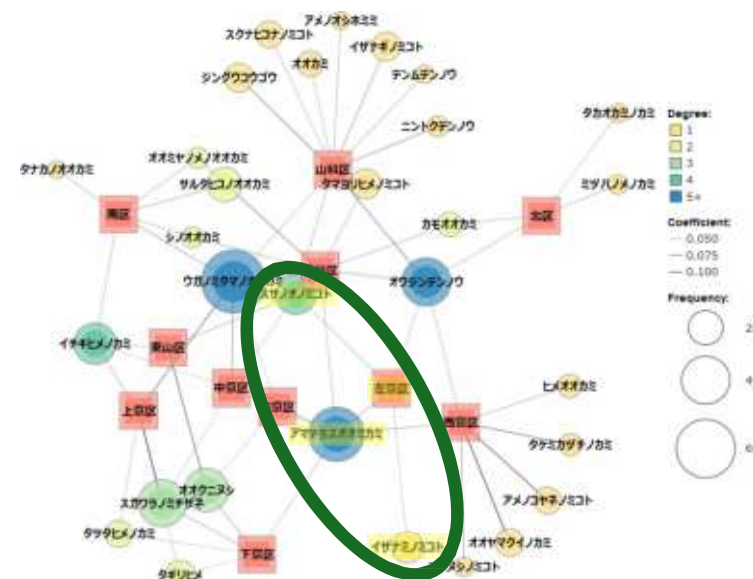
図1・図5
→ 貴族浪漫コンテキスト・トレイル
図2・図4・図5
→ 素戔嗚尊コンテキスト・トレイル
図2・図3・図5
→ 芸能コンテキスト・トレイル



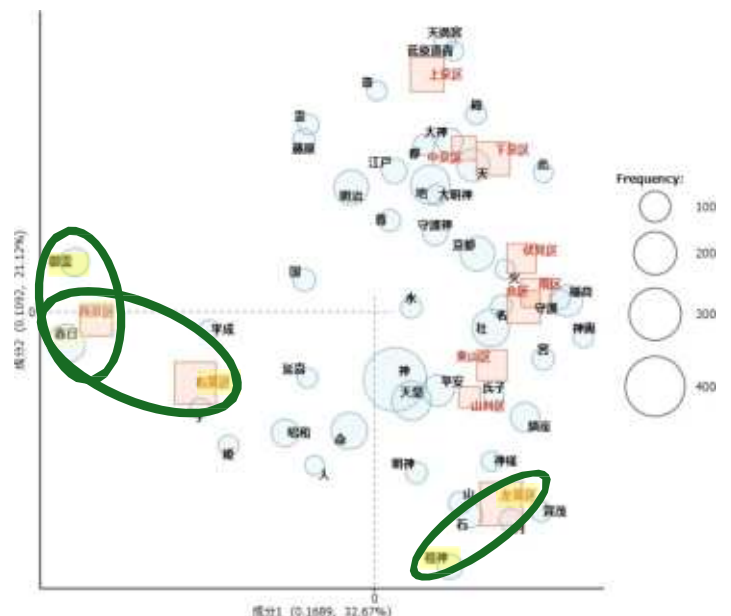
↑ 図2 共起ネットワーク図(分析対象: 統一ご利益)



↑ 図3 対応分析 (分析対象: 引用ご利益)



↑ 図4 共起ネットワーク図(分析対象: 御祭神)



↑ 図5 対応分析 (分析対象: 駒札)
【出典】KH Coderより野田ゼミ作成

2-6. 貴族浪漫コンテキスト・トレイル

分析結果をもとに、主要観光地から周辺部に観光客を促すコースを例として3つ作成した。

**① 平安貴族が当時感じた千年の雅を体感する、
嵯峨嵐山エリアから西京区へと促すコンテキスト・トレイル**

千年の雅に触れる 貴族浪漫さんぽ



出発



渡月橋・竹林

古くから紅葉名所とされ、天皇・貴族などが和歌に詠んだり、舟遊びを楽しんだりした地

到着



大原野神社

洛北の大原とならぶ憩いの地として、天皇や貴族たちが狩りや花見を楽しんだ地



松尾大社

酒の神として信仰され、平安時代には貴族の宴や雅の文化と深く結びついた



月読神社

観月や和歌と深く結びつき、平安時代の貴族たちが愛した雅な文化を感じられる

10～40分

コース概要

皇族や貴族の別荘地・行楽地として知られた嵐山から酒の神・松尾大社や月読神社などゆかりのある社寺を巡るコース

船遊びや月見、酒宴、和歌に興じた貴族文化や景色に思いを馳せ、古典物語の世界を味わうことができる

分析結果より

- ◆ 図1「春日」と「藤原」の繋がり、「守護神」と「勧請」・「平安」の繋がり藤原氏が春日信仰を行っており、平安時代に春日大社から藤原氏の守護神として勧請されて春日関連の神社が造られることが多かったことが関係していると考えられる。

※勧請：本祀の社に祀られている神の分霊を迎えて、新しく設けた分祀の社殿で祀ること

- ◆ 図5「西京区」「右京区」と「春日」の繋がり

西京区と右京区には春日信仰にまつわる神社が多い。藤原氏をはじめとする貴族の勢力が及んでいた地域と考えられる。

※春日信仰：奈良県の春日大社を総本山とする春日神

(武甕槌命、経津主命、天児屋根命、比売神)の四柱への信仰

2-7. 素戔鳴尊コンテキスト・トレイル

②素戔鳴尊に因んだ開運・強運をテーマに、清水・祇園エリアから左京区の素戔鳴尊を祀る神社へと促すコンテキスト・トレイル

スサノオノミコト
素戔鳴尊
に導かれて！
京の寄り道開運さんぽ



八坂神社

全国に約2300社ある
素戔鳴尊を祀る神社の総本山



霊山護国神社

坂本龍馬などを祀り、
勝負運・厄除けに効果がある



二年坂・三年坂

転ぶと二年(三年)で死ぬ
という迷信がある

▼ 20～30分



須賀神社

素戔鳴尊と妻を祀る。ご
利益：厄除け・交通安全



八大神社

素戔鳴尊を祀る。
古来より世の信仰が厚い。
ご利益：厄除け・方除け



鷲森神社

素戔鳴尊を祀る。
素戔鳴尊の歌にちなむ石あり。
ご利益：厄除け

コース概要

須賀神社や八大神社などの素戔鳴尊を祀る神社を巡るコース
京都の鬼門を守ってきた素戔鳴尊への信仰に触れ、
八坂神社・霊山護国神社でいただく厄除けと開運の力をさらに高め、
二年坂・三年坂での厄も手放せる。
仕事や何らかのチャレンジの際のご利益として効果的。

素戔鳴尊とは？

- ・ヤマタノオロチを退治し妻を救う
- ・初めて和歌を読む
- ・農業技術を人々に伝える
- 厄を払い、良い方向に導く神様



分析結果より

◆図2「左京区」と「開運」「厄除け・災難除け」の共起性

素戔鳴尊を祀る神社が左京区に比較的多く、そのご利益によるものとみられる

◆図4「左京区」と「スサノオノミコト」「アマテラスオオミカミ」

「イザナミノミコト」の共起性

※アマテラスオオミカミ：素戔鳴尊の姉、イザナミノミコト：素戔鳴尊の父の妻

左京区は東に位置し、素戔鳴尊の力により守る必要があったと考えられる

◆図5「左京区」と「祖神」の結びつき

「豪族の祖神」「古代氏族の祖神」という文脈で使用されており、
古くから多くの武家・後続に崇拝される重要な神が多いと考えられる

2-8. 芸能コンテキスト・トレイル

③ 芸能・技芸上達をテーマに、四条烏丸・河原町エリアから西京区・右京区・北区へと促すコンテキスト・トレイル

芸能の神に出逢う旅

～感性がひらく神社と買い物の京めぐり～

出発

大型商業施設



京都高島屋S.C.



大丸京都店



ハンズ京都店

到着



20～30分



天津神社

芸術をはじめ、諸願成就のご利益がある。



梅宮大社

日本で最初に雅楽を作曲した仁明天皇を祀り、音楽芸能にご利益がある。



下桂御霊神社

日本三筆とも呼ばれた能書家である橘逸勢を祀り、書道上達にご利益がある。

コース概要

ショッピングで最新のファッションやデザインに触れた後、梅宮大社や下桂御霊神社といった芸術や芸能に関する文化がある神社を巡り、
芸能に込められた人々の祈りを実際に感じ取るコース

移り変わる現代の美から、普遍的な古来の美へと意識を向けることで、それぞれの美が持つ奥深さを味わうことができる

分析結果より

◆ 図2「北区」と「芸能上達・技芸向上」の共起性

北山文化の発展や、かつて文化芸能の盛んであった上京区から分区された地域であることが関係していると読み取れる。

◆ 図3「右京区」と「上達」の共起性


右京区で秦氏が絹織物や土木技術を発展させ、都に広めたことが関係していると考えられる。

◆ 図5「西京区」と「御霊」の共起性

御霊会などの御霊を鎮めるための祭礼では、芸能が不可欠だった。また、御霊信仰は乱れや災いを鎮める力があるとされており、不安が落ち着くことで本来の力を発揮しやすくなるため、芸能上達・技芸向上と関連していると考えられる。

※御霊信仰：非業の死を遂げた人の怨霊が災いを起こすと信じ、その怨霊を鎮めてあがめることで災いを免れ、反対に守護や利益を得ようとする信仰のこと

3-1. 政策効果の検証

 政策の効果を検証するために京都市民・観光客600人に街頭調査を行った。
実証の結果、**政策案への肯定的な意見**が多数を占め、特に効果的な層を回帰分析で導出した。

調査方法

- 対象: 京都市民・観光客
- 回答者数: 600人(各コース200人)
- 場所: 四条大橋・嵐山
- 時期: 2025/9/1～9/12
- 内容: 訪問意欲を5段階で評価




各コースの平均値

貴族浪漫 コンテキスト・トレイル	素戔鳴尊 コンテキスト・トレイル	芸能 コンテキスト・トレイル
3.76	3.90	3.53

回帰分析の結果


	貴族浪漫 コンテキスト・トレイル	素戔鳴尊 コンテキスト・トレイル	芸能 コンテキスト・トレイル
女性	-0.061 (0.147)	-0.249 (0.149)	0.030 (0.135)
観光客	0.459* (0.264)	0.087 (0.141)	-0.056 (0.137)
10代	0.205 (0.156)	0.070 (0.192)	-0.107 (0.185)
30代	-1.205*** (0.451)	-0.251 (0.210)	-0.092 (0.173)
40代	0.195 (0.280)	0.896*** (0.209)	0.191 (0.376)
50代	0.147 (0.314)	0.425** (0.203)	0.199 (0.178)
60代	-0.110 (0.295)	-0.505 (0.320)	-0.151 (0.324)
定数	3.376*** (0.283)	3.946*** (0.151)	3.550*** (0.147)
決定係数	0.1	0.0933	0.0167
標本数	200	200	200

(注)ロバスト標準偏差、OLSにより推定




50代女性

普通の観光よりも目的があって良いと思う。




20代男性

行ってみたい。スタンプラリーなど工夫があればなお良い。



60代女性

京都には何度も行っているのにこんな神社があることは知らなかった。行ってみたい。



50代男性

広告などで宣伝されていればさらに行きたくなりそう。

- ◆ 素戔鳴尊コンテキスト・トレイルは40代、50代に有意。
仕事上の役割が大きくなり、開運への魅力を感じると考えられる。
- ◆ 貴族浪漫コンテキスト・トレイルと芸能コンテキスト・トレイルは、
属性による相違は小さい。
- ◆ どのトレイルに関しても、40～50代には、20代と比較して
有効性が高いことがわかった。

3-2. 神社へのヒアリング調査



政策案で取り上げた神社とその周辺の商店街などにヒアリング調査を行ったところ、全ての神社から観光振興について協力的な意見を得られた。



1. 観光客が増えることについての考え
2. 観光客増加による嬉しいこと・望ましいこと
3. 観光客増加による課題・懸念点

歴史的価値があることを伝えたい
ゆったりとした空気を感じてほしい
という声も！



大原野神社

1. 良いこと
2. 日本の文化の根幹は神社にあるということが伝わると嬉しい
3. 道路が狭いこと、トイレなどの設備の不足が心配



松尾大社

1. 良いこと
2. たくさんの人で経済が活性化するのは良いこと
3. ない



月読神社

1. 良いこと
2. 神様の力はお詣りしてもらうことでどんどん強くなる
3. ない



須賀神社

1. 歓迎
2. 興味を持ってもらうのは嬉しい
3. お賽銭がPayPayやクレジットカードに対応しておらず、対応させる予定もないので今後の対応が懸念点



八大神社

1. この辺りはオーバーツーリズム状態ではないため歓迎
2. 収入が増えると神社を今の形のまま守ることができる
3. 紅葉など時期が限定されると近隣の迷惑になるため、年間を通じて継続的に観光客が増えればよいと思う



鷺森神社

1. 良いこと
2. 収入が増える
3. 公共トイレがなく、飲食店に入らなければならない



天津神社

1. 参拝をする方だったらいいこと
2. 維持管理という意味では必要
3. いろんな人がいるので最低限のマナーがあるといい



梅宮大社

1. 良いこと
2. 時期によらず満遍なく来てくれると望ましい
3. 少人数でやっているのでも目の届かないところもある（人材の確保、設備の更新など）



古川町商店街

1. 良いこと
2. 売上が上がり、活性化につながる
3. 日本人の観光客は何の問題もない



大將軍商店街

1. 観光客が増えてくれたらそれに越したことはない
2. お客さんが増える
3. 平日と土日の繁閑差や、商店街のお店自体が少ないこと

4. まとめ

京都コンテキスト・トレイルを用いた観光客の分散により、京都観光の持つポテンシャルを活かし、持続可能性を高めることができる。

京都コンテキスト・トレイルによる効果

主要観光地の日本人観光客分散によるオーバーツーリズム緩和

40・50代を中心に既存観光地を訪れる観光客の一部がアーリーアダプターに。
SNSなどを介して他の層にも新たな観光地の魅力が伝わる。

外国人観光客にも伝播



日本の文化や歴史のコンテキストに関心をもつ外国人を中心に、注目されるようになる

持続可能な京都観光へ

将来にわたって観光地の価値を守ると同時に、その潜在能力を活かして更に発展していく持続可能な観光都市へ

京都

コンテキスト・トレイル

観光による税収増



飲食・小売り関連の税収が増加し、京都市の財政再建の一助になる

市民生活との摩擦緩和



混雑の解消により、交通やごみ、騒音の問題が緩和され、市民満足度が向上する

分散先の神社や商店の利益増



観光客の来訪により、分散先の神社や商店の維持や魅力増進に繋がる

混雑による機会損失の改善



「時間の分散」をはじめとする京都市の既存施策と相まって特定地域への観光客の集中を抑制

京都市は特に歴史が長く、他都市と比較してコンテキストが豊富

→ 京都市内の他のスポットも観光地化できる可能性あり

今後の課題

- ◆ 観光客の分散にどの程度の効果が見込めるのかは、より継続的に検証する必要がある
- ◆ 今回は神社間の偏りをなくすため駒札を分析対象としたが、今後はより詳細な郷土資料なども用いてコンテキストを導出していきたい
- ◆ 実施に向けては広報の手段や担い手など、より詳細な計画立案が必要となる

今後の展望

観光客が集中する地域との繋がりを活かして人の流れを創出し、地域の活性化を促す**新たな地方創生のモデル**へ

